

市指定

所在地：真南条上

さんぜんさんぜんぶつず

三世三千仏図

中尊が金色に描かれる千仏画が、三幅一揃となって龍蔵寺に残されている。各幅とも、中尊は肉身部と衲衣は金色で表され、複雑な裳裾の表現とともに、宋風絵画の特徴が見られる。ただ、鎌倉時代のものと比べると、面部の表現が俗化し、光背、天蓋の表現も簡素化している。このことから室町時代初めに制作時期が比定される。

本図は、当地方の修験道場三岳にあったものを、文明14年（1482）に兵乱を避けて、龍蔵寺に移したとする。

各縦272cm、横166cm。

